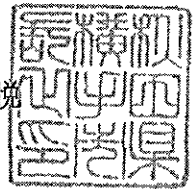


建 監 第 356 号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

横手市長 五十嵐 忠悦



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼ありました標記について、
別紙のとおり回答します。

横手市は、秋田県の南部に位置し、郡内一体の合併により人口10万人強の県内第二の都市として平成17年10月に新「横手市」として誕生しております。

他の地方都市と同様に、人口の減少・高齢化の進展が著しく、産業振興による雇用の場の創出が大きな課題であり、その解決ため、地場産業の掘り起こしや企業誘致活動に全力で取り組んでおります。しかしながら、なかなか企業誘致にまで至っていないのが現状であります。

この現状を思うに、進出を考える企業にとっては、安全・安心な物流をいかに確保できるかが大きな関心事であり、特に、冬期間の道路交通状況が進出決定をする上での大きな判断材料になっているのではないかと思います。雪の降らない地方と対等に誘致活動を展開するためには、雪に強い道路管理、高速道路網や幹線道路網整備を強力に推進する必要があります。

秋田県は、公共交通機関の利便性が低いため、市民の移動手段は、もっぱら自家用車を利用しており、車がなくては、生活できない環境といっても過言ではありません。このため市民の方々は特に、冬期間の除排雪作業への要求が高く、国・県・市道を問わず積雪・堆雪のない安全・安心な道路状況を常に望んでおります。一方、高齢化の進展に伴い、高齢者の健康管理や救急医療・防災体制の充実を図るため、元気なお年寄りが積雪時にも安心して通行できる歩道の整備や狭隘な生活道路の改善・維持管理がますます重要となってきました。しかしながら、当市の財政状況等を勘案するに、十分な対応ができていないのが実情であります。

このように、雪国の地方都市は、気象条件で大きなハンデを背負っていると考えます。今後の道路行政を計画するにあたり、一層の重点化・効率化を図ることとしているようですが、これ以上都市部と地方部の格差が広がらないよう事業評価手法に気象条件・住民の道路交通への依存度の度合等地域特性を考慮することや、道路計画の中に雪国全体の総合的な地域活性化支援事業枠を設けることなどを検討してほしいと考えます。

②-1 地域の現状と抱える課題

秋田県横手市

○現状

(1) 高速道路網の整備について

- ・気象条件を除外すると、企業の進出意欲を促す高速道路の整備が遅れている。

秋田道(北上 JC～大曲 IC)の4車線化

東北中央自動車道の全線開通

(2) 生活道路の維持管理について

- ・老朽化した側溝(特に現場打ち側溝)の計画的な改修ができない
- ・部分的な舗装補修の繰り返しによる路面の凹凸が目立つ道路の計画的な全面舗装改修ができない
- ・橋梁(橋長15m 未満)の点検・修繕・更新ができない

(3) 冬期道路交通の確保について

- ・市道除排雪作業に関して、地域住民からは、国県道なみの除排雪作業を求められているが、対応仕切れていない

(例)

圧雪路面の解消

歩道、車道境の堆雪帯の排雪

市街地・生活道路(幅員6m程度)の排雪

歩道の排雪

○課題

- ・財政の硬直化、地域経済の低迷による税収の減などにより、単独建設事業の減少、維持管理充当一般財源不足

②-2 地域の目指すべき将来像

- ・平成17年10月 郡内(8市町村)一体による新設合併による新「横手市」が誕生。
- ・合併協議の中で「新市建設計画」を策定。
- ・策定内容を継承、包含しながら、更に発展させた総合的かつ計画的な行政運営のための計画として「横手市総合計画」を策定

◆「横手市総合計画」 ふるさとよこてスクラムプラン

- 基本構想 平成18～27年度
- 前期基本計画 平成18～22年度
- 横手市の目指すまちの将来像

地域住民と行政の協働のもとで、地域の特性や機能を十分発揮することにより、産業が活性化し、都市的機能や行政サービスの充実が図られ、一人ひとりが生活の豊かさを実感できる新都市の創造。

目指す将来像 『豊かな自然 豊かな心 夢あふれる田園都市』

●6つの基本目標のうち道路に関連する主要な事項

人にやさしく住みよいまちづくり《生活環境》

1)道路網の整備

県南の拠点都市として基盤の強化を図るため

- ① 高速道路網の整備促進
- ② 国道、県道の整備促進
- ③ 生活道路及び歩行者空間の整備促進
- ④ 道路除雪の改善
- ⑤ 市民と協働による道路の維持管理

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

秋田県横手市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	・高速道路網のネットワーク化・4車線化 秋田道(北上 JC～大曲 IC)の4車線化 東北中央自動車道の全線開通	・企業誘致に弾みがつく ・産業振興、若者流出に歯止め効果	
・冬期間も安全で快適な道路管理	・国道の冬期間通行止めの解消	・地域間交流・広域連携による活性化	・雪国に対するマイナスイメージの解消
・冬期間も安全で快適な道路管理	・幹線、その他市道の区別なく、除排雪経費への交付金助成	・排雪作業に重点をおくことが可能になり、幅員・視認性の確保ができ、交通事故の減少効果 ・緊急車両の通行確保、救命率のアップ ・高齢者の健康増進、医療費の軽減	
・計画的・効率的な維持管理や更新の推進	・老朽化した道路(舗装・側溝・橋梁)の再生事業への支援	・快適な生活環境の維持	